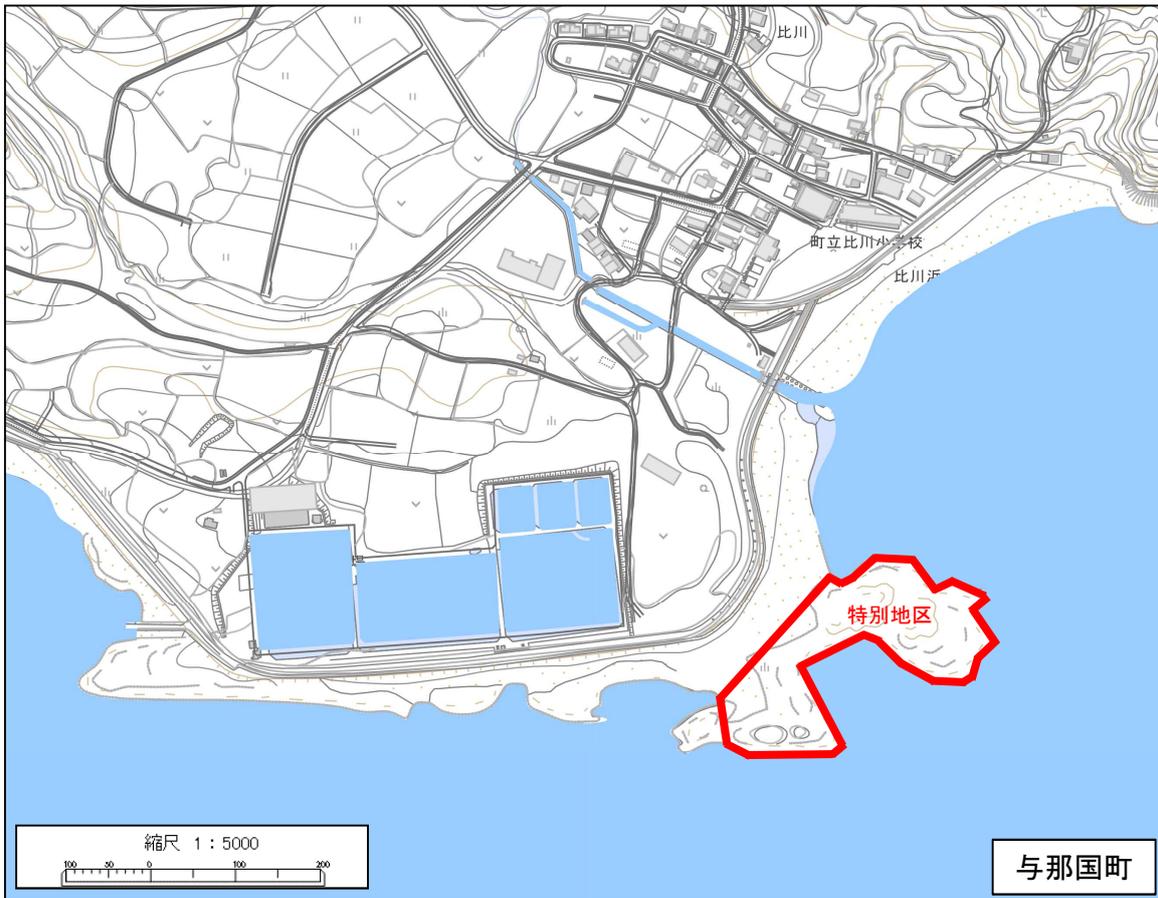


比川地先自然環境保全地域



- 指 定 : 昭和55年10月6日
位 置 : 八重山郡与那国町字比川地
面 積 : 2.3ha
(特別地区2.3ha 普通地区なし)



(指定理由)

本地域の自然植生は、比川地先の隆起サンゴ礁の岩礁に成立するミズガンピ(ハマシタン)群集を主体に、イソマツ-モクビヤコウ群集を含む海浜風衝植生である。

ミズガンピは、琉球列島以南の熱帯アジア、ポリネシア、アフリカなどの海岸に自生する熱帯性の小灌木である。沖縄県はその分布の北限に近い所であるが、当該地域では、岩礁一帯に高さ30~50cmの矮形化した大群落を形成し、群落の形態、構造、広がりなど学術的に極めて価値が高く、特に当該地域のような大群落をなし、自生している場所は県内では類を見ない。